

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

西川ゴム工業株式会社 吉田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市吉田町吉田1489-23

(3) 業種

工業用ゴム製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和5(2023)年度から令和12(2030)年度までの8年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和5年度 (2023)	令和 ()	令和 ()	令和 ()	令和 ()
エネルギー 起源CO ₂	7,848	4,238 46.0	6,242 20.5	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	7,848	4,238 46.0	6,242 20.5	100.0	100.0	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自 己評価	省エネ活動の効果によりCO2排出量の削減ができていますが目標に対する推移は未達である。 目標年度にむけて継続的な活動が必要である。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

投入量千t

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和5年度 (2023)	令和 ()	令和 ()	令和 ()	令和 ()
エネルギー 起源CO ₂	1,175.2	634.6 46.0	812.7 30.9	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	1,175.2	635 46.0	812.7 30.9	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する自 己評価	省エネ対策の実施により2022年度比4.4%削減が行えた。コロナ化で停滞していた仕事量も改善され行っ て来た省エネ活動の効果が原単位削減につながった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電力使用量の削減	電気使用量の2.0%削減	コンプレッサー更新 ホッパードライヤ小型化・循環のベビコン化 エアコン更新 電灯トランスの更新
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。